

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人おおぞら かぎみどりあすなろ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学生低学年との言語コミュニケーションを密に取り入れた活動をとりいれている。	一方的ではなく「やりとり」を行う中での楽しさやコミュニケーションのスムーズさを経験できるよう小グループでの活動絵紙を取り入れている。	・対象児童に合わせて、プログラムを変更し実施していく。
2	季節に応じた行事やイベントを取り入れている。	・季節に合わせた行事やイベント等を年間行事に取り入れている。 ・それぞれの活動や行事、イベント等を通信でお知らせしたり、SNSでの発信、動画作成をして、定期的に保護者にお伝えしている。	・現在を行っていることを継続して行っていく。
3	保護者と意思疎通ができています。	・送迎時にその日1日の児童の様子を伝えている。また気になることがある際には積極的に保護者に尋ねている。	・現在を行っていることを継続して行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園・幼稚園との交流の場が少ない。	・交流センターや公園等の利用はしているが、活動の一環としての利用となっていた。	・地域のイベントの参加、連携方法を考え、交流を図るきっかけを作っていきたい。子どもに限らず老人ホーム等も考慮し交流を図っていきたい。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供を行っていない。	・家族に対する支援や研修等を職員が把握できておらず、行えていなかった。	・職員が「ペアレント・トレーニング」に対する知識を得られる研修を行い、今後家族向けの研修等を積極的に行っていく。
3	子ども達の活動量に対して療育室のスペースが狭く感じる。	・基準は満たしているが、支援内容や活動プログラムによって狭く感じる時がある。	・地域の体育館等の場所を借りたり、戸外遊びを積極的に取り入れ子どもたちが安心して体を動かせる場所を作っていく。